

昨日米軍の万が一の侵入に備え、愛知訪印15、全大阪学生200名決起！

愛知訪印15、全大阪市民緊急抗議集会へ結集せよ

5/15

本日12時30分教養芝生全市民抗議集会、5時大阪駅前人民広場(反安保府民共斗主催)

昨日、全大阪学生総決起を二百の大衆的隊列で、ヨリ抜く！

全市民の学友諸君、昨日、我々は、14全大阪学生総決起に於て、全大阪学生二百の大衆的隊列で「米軍によるカンボジア侵略抗議、愛知訪印反対、日米共闘、明実責任阻止」のスローガンの下、戦時的モモンストレーションを官憲の弾圧をはねけて貫徹したことを報告する。緊迫したインドシナ情勢を踏まえて、全口的な全世界を取り組むが展開されている中で、我々学生共闘会議は、5・8、5・12そして昨日の、14と唯一二の激動した情勢の下における連続斗争をヨリてきたが、この斗争の中で得た貴重な成果を更に6月全日学国ゼネストに向けての巨大なヨリに前進させていかねばならない。

運動内部の日和見主義を克服し、徹底したグ
ラフス討論から更なるヨリでの深化を待ちとり
6月安保斗争へ前進せよ！

69年70年の学生運動の展開の中で、鮮明に示された2、3の特徴に全市民の学友の注意を喚起したい。

それはカ一に、市民の内部においてほとんど情勢活動を行なわなかつた。一切の原則的大衆的斗争の組織化を怠り、大衆の自然発生性前にヌヌヌのわけ込んでいた反帝ハ派諸君の、この間の急速な分解過程である。すでに東京、京都、大阪においても彼等は例の、野合集会を開けず、各派別にしか集会を開けなかつた。プロ学同、フロ、下宿の内々バ、マンド、ML固の内々バ等を通じて急速に分解作用が顕在化している。昨秋期「武装決戦」をねめまわった彼等は、それに対する一切の総括と批判抜きで、80度の路線転換を行なっており、共産党の「大衆的モモンストレーション」を、政治的破壊はいまやあつてくもない。カ2に民権の主張にあられたアラナ対立を意図しなければならぬ。則ち、米帝のカンボジア侵略に対し、日本政府がいち早く支持断を行ない、その帝国主義者としての露骨な侵略的意図を露骨に暴露せよとあやんで、彼ら細領的立場に絶対的に矛盾する「自民党政府の介入」を叫びはじめた。カ3に、陳故、CIE会議、S反安保学生C等に属する「ラジカル」派の諸君の「斗争」についてやるならば、一切のクラス指導を放棄し、斗争の組織過程を一切抜きにしてにかく統一を夢想したや平運運動の総破壊として現象している彼らの運動は決して、70年安保斗争、年代階級斗争の主力たり得ないことは明白である。斗争の一切の位置付け、共闘の原則をきにした野合集団の急速な分解過程は基本的に全共斗、反帝ハ派とそれと同等のものである。それゆへに、我々の一貫した鋭い批判が今尚極めて有効である。

本日、米帝のカ、ポロシマ侵略抗議
マシニア会談反対全大阪市民会へちど、大
阪駅前人民広場へに結集せよ！

全市民の学友諸君！

本日、反安保府民共斗主催による全大阪集会が人民広場で行われる。「大阪方式」として全国でもまれな原則的共闘を展開している反安保府民共闘の集会に結集し、最後まで斗争を徹し、さうではないか。

平和と民主主義をめぐって
学生共闘 5/15